

2026年3月1日版

緩和ケア病棟におけるせん妄リスクを考慮した不眠に対する薬物療法の  
実態調査へのご協力をお願い

当院では下記の臨床研究を当院倫理審査委員会の承認を受け、実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることにご了承いただけない場合は、研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先までご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	緩和ケア病棟における不眠に対する薬物療法の実態調査
研究責任者	京都第一赤十字病院 薬剤部 伏見 久美子
研究の目的	緩和ケア病棟に入院される患者さんでは、不眠がしばしば認められます。また、不眠への治療は、せん妄や転倒などの安全面にも配慮して行われています。本研究では、不眠に対して使用された薬の種類や使用状況、臨床経過との関連を明らかにし、より安全で適切な治療につなげることを目的としています。  研究期間：倫理審査委員会承認後～2028年12月31日
研究方法	対象：当院の緩和ケア病棟に2024年1月1日から2025年12月31日の期間に入院され、不眠に対して薬物療法がおこなわれた患者さん 収集する情報：年齢、性別、病歴、入院期間、肝機能、腎機能 処方された薬の種類・投与量・投与期間 併用薬、睡眠状況、せん妄の発症・増悪の有無、 転倒・転落の有無、過鎮静の有無 転帰（退院、転棟、死亡など） 研究デザイン：後方視的調査  これは、治療状況を調べるものであり、患者さんの治療方針に影響する事はなく、新たな検査や聴取などの負担をお願いするものではありません。
使用する診療情報	診療情報名：診療記録 対象収集時期 2024年1月1日～2025年12月31日
個人情報の取り扱い	患者さんのカルテ情報をこの研究に使用する際は、患者さんを直

	<p>ちに特定できる情報は削除し研究用の番号をつけて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、同分野の職員によって入室が管理されており、第三者が立ち入ることはできません。</p> <p>本研究の結果は、個人情報保護に十分な配慮を行った形で学会発表、学術論文として公表する予定です。</p>
利益相反	本研究に関連する開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	<p>京都第一赤十字病院 薬剤部 伏見久美子、土谷有美 〒605-0981 京都市東山区本町 15 丁目 749 番地 電話：075-561-1121（代表） 対応可能時間：平日 8:30～17:00</p>